

# スカイポットの日本ダービー予想2009

# 指数1位を信頼。リーチザクラウン◎

## ①パターン分析でGO!

単月賞後から色々調べてきて、週中にも展覧対談、データ分析を掲載したにもかかわらず、どう買えばかわからない、というのが今年のダービー。買わないほうが正解かもしれないが、予想士としてこのレースだけは回避できない。NHKマイルC、オークスと馬券的に惨敗を喫しており、巻き返したい気持ちもある。

ダービーは1番人気馬が好走しやすい。それはこれまでのレースから強い馬がちゃんど人気になると、東京芝2400mが能力が発揮できる舞台であるからである。近年唯一の惨敗例は一昨年のフサイチホウオー。フサイチホウオーは指数が抜けていなかったから(むしろ東スポ杯ではドリームジャーニーに劣っていた)、僕は単月賞までずっと嫌い続け、ダービーでは最高指数を持つ女傑ウオッカに本命を打った。

昨年は重馬場リスクの参考としてアグネススターチに本命を打つ試行をしたが、指数自体はディープスカイ(とアグネス)が抜けていた。メイショウサムソンは指数はそれほど高くなかったが内伸びバイアスに助けられて勝利し、ディープインパクトは指数が抜けていて圧勝した。

今年のアンライバルドは単月賞前までの指数がそれほど高くなく、単月賞で上昇したもののレギュラーなレースだっただけに強烈に見えた末脚を信じて本命を打ってよいのか疑問が残る。フサイチホウオーに抱いた気持ちと似ている。もし本命を打って惨敗ということがあれば後悔するだろうから、他に抜けた指数馬がいればそこに本命を打ちたい。今年で言えば、リーチザクラウンやロジュニヴァース。ただ、こちらら単月賞がい3、14着と負けすぎて不安も大きい。

条件の把握をしっかりと行ってから購入することをおすすめする。この東京開催のキーワードは「高速馬場」「内先行有利」。NHKマイルC、ウィクトリアマイル、オークスと、先行していた馬、内でも溜っていた馬、内を崩した馬が上位に来ている。厄介なことに今週からCコースに替わるのと降雨の影響で馬場が重めになるだろうことから、条件が先週の傾向のままかどうかはわからない。当日の状態を確認しながら調整したい。東京競馬場は重馬場になると伸びるところがはっきりして、能力指数からは考えられない結果になるから、極端なバイアスが発生していたら通常買えないと思う馬にも流してみたい。

想定される結果をパターンに分けて考えていこう。  
★パターン1:「若駒ナジ的には順当です」内先行有利馬場の場合

条件が先週までと変わらず内先行有利なら、リーチザクラウンに期待したい。トップ指数を持っており、アンライバルドに外を回すロスが発生するならば指数計算上は逃げ切れる。父スベシャルウィークは東京や京都を得意としていて、確かにこの馬が崩れたのは阪神と中山なので、今回は力を出し切れると期待できるし、きざぎざ運速対馬とダービーの相性は非常に良い。短い距離が向いているとの武豊騎手のコメントも誤報だった模様。

差逃げを阻止する刺客になる可能性のあったゴールデンチケットは前走武豊騎手が乗って勝っているため陣営が騎手の嫌がらせを行うとは思えない。他に社台Gが使える先行馬はおらず、リーチザクラウンはすんなり単騎逃げができるのではないかと。

この馬の場合、無理に抑えても駄目なことが前走ではっきりしたので、テンの入りや緩めに入りつつ(テン2F目で10秒台を踏むと最後に響く)馬の気に任せて最初のコーナーあたりでハナに立つくらいで行くのではないだろうか。

警戒したいのは持ち指数が実は高く良かった場合のロジュニヴァース。若駒ナジ的に当然の結果を最後の最後でやられて、買ってませんでしたとは言えない(笑)

この場合の馬券はリーチザクラウンとロジュニヴァースの単勝、リーチ、ロジ、アンライバルドの馬連ボックス、アプレザンレーヴを加えた4頭の3連複ボックス、3強を1-2着固定にして手広く流す3連単(アプレザンを2、3着に固定する手もあり)になるだろうか。

★パターン2:「祭りだワッショイ!」極端な内先行有利馬場の場合

内しか伸びない条件になった場合。過去、タップダンスシチーが9馬身差で逃げ切ったJC、ロジックが勝ったNHKマイルC、メイショウサムソンが勝ったダービー、スキップジャックが勝った京王杯2歳S、その頃の天皇賞秋(ダンスインザムード2着)などがこのパターン。最近は見かけなくなってきたように思うが。

当然、リーチザクラウンが逃げ切ると予想される。で、相手を内枠馬と先行馬からほぼ自動的にチョイスすればOK。

## ②データアートによる買い目

★パターン4:「別路線組2頭キター!!」データ分析通りに買う

週中、単月賞がハイベースだった年の単月賞結果とダービー結果の関連についてデータ分析を行っている。その時のまとめを転載しよう。

①ハイベースの単月賞で先行して負荷を受けて負けた馬(1角または2角5番手以内かつ4着以下)の該当馬成績は(0.1,0.0,1.17)。

②ハイベースの単月賞で追い込んで好走した馬(2角13番手以降かつ3角か4角で10番手以降で7着以内)の該当馬成績は(1.0,3.2,0.8)。

③ハイベースの単月賞を差し追込みで好走し、次走を凡走しての臨戦は穴ローテ。

④ハイベースの単月賞を3角4番手以内で勝った馬は2冠濃厚。

⑤ハイベースの単月賞だった年のダービーは別路線組に注目。1975以降の日本ダービー1~3着馬中、単月賞使用馬が1頭以下しかいなかったのは、1979,1981,1987,1988,1989,1994,1996,2002,2004の9年。大昔は色々なローテがあったので無視して考えても、1987年からの7年は、うち6年がテン3Fが35.2以内のハイベースで(1988は東京のため除外、2002年は高速馬場のため除外としていた)、残る2004年はテン35.3、高速馬場ではあったが1分58秒台の速い時計が出た年だ。

⑥ハイベースの単月賞を二桁着順だった馬の巻き返しは2番人気以上かつ先行していないこと。

⑦ハイベースの単月賞での着差はあまり気にしなくていい。

ということで、別路線組を中心に据える。今回は内枠を取れたアプレザンレーヴが、器用さ(先行も可能)や上がり実績(前3走上がり最速)もあり、過去に好走した青葉賞勝ち馬と比べても遜色ない水準の馬だと思つので、この馬を信頼してみる。

3連複フォーメーションで、アプレザンレーヴを1頭目に、2頭目を別路線組のブレイクランアウト、アイアンルックに、3頭目をアンライバルド(マイナスなし)、ロジュニヴァース(巻き返しの可能性)、セイウンワンダー(恵まれた追込馬で朝日杯ウイナー)、アントニオパローズ(単月賞後レース使用(ガス抜き)、フィフスベトル(単月賞後レース使用(ガス抜き))、リーチザクラウン、ナカヤマフェスタ(単月賞先行敗退も休み明け)とする14点。

2頭目が本当に来るのかかなり怪しいので、2頭目に3頭目選択馬を加える馬券(35点)にする手もある。

今回であれば、内枠馬からロジュニヴァース、アプレザンレーヴ、ナカヤマフェスタ、フィフスベトル、トップカミング、ケイアイライジン(後方からの競馬で実績を残している)のでここでは嫌い、マツハヴェロシティは流石に弱い。先行馬から、ジョーカブチーノ、アントニオパローズ、ゴールデンチケット、アーリーロブスト。騎手からブレイクランアウト(馬自体は先行も可能)。56点+念のためロジ→リーチの1・2着固定流し7点の計63点の3連単を買いたい。

馬場の変化は、僕の経験では雨が降り続けている時は内が駄目になりやすく、雨がやんで乾いてくる時に内が良くなる印象があるので、土曜日雨で日曜日曇りの今回はこっちの極端な馬場だけ考えていけば良さそう。もし、Cコースになって外差し馬場になっていたとしても、土曜日の結果から騎手が調整して乗るので、ピンクカメオが勝ったNHKマイルCのような馬場のほうは想定しなくて良いだろう。

★パターン3:「まあ、これはこれで納得できますね」デフォルト〜フラットの場合

アンライバルドが大外枠の不利も跳ね除けて真の強さを見せつける。1番人気がほとんど連を外さないダービーらしい結果も想定はできる。18→1, 2, 7, 8, 10, 11, 12, 17→1, 2, 7, 8, 10, 11, 12, 17(56点×100円)

念のためリーチとロジが勝った場合をおさえる。  
1, 12→18→1, 2, 7, 8, 10, 11, 12, 17(14点×100円)

## ③天星指数とSHPによる各馬診断

天星スコopを作成する際に各馬の前5走を確認して、そこでインプットされたSHP等をお伝えします。

1. ロジュニヴァース(横山典)  
再三の内枠指名。重い馬場ばかりで実績を積んでおり、若干高速馬場となった単月賞では惨敗。その時の指数の変化を見ると体調がおかしくなったと考えざるをえない。そうなるのを回避しているのが問題だが、依然春先ほどの強い調教は課せられておらず、横山典騎手の辛口コメントを出していたように不安は残る。ただ、ラジオNIKKEI杯のパフォーマンスはマツハヴェロシティが青葉賞で着好走したことで下限が63程度と確定したので、このメンバーなら内枠利と指数上位から巻き返す可能性は残す。

2. アプレザンレーヴ(内田博)  
まだ黒い馬体で、尻尾を見て芦毛とわかる程度。黒い芦毛は成長力が有りそうだが好感が持てる。馬格があり、持続系の安定した強い末脚を持っていて、ロスのない内枠を引けたことから、スローペースや仕掛け遅れにならない限り堅実な好走が見込まれる。既に毎日杯でアイアンルックの能力を証明しており、父シンボリクリスエスなどのスローペースを後方から上がり最速の脚を使えるのだから、厳しいレースなら更にパフォーマンスを上げてくれると思えない。ダービーでは青葉賞馬を嫌うスタンスで臨むことが多いが、ここまでのレースで感じた印象は同時期のシンボリ、ロブロイを上回るため買ってみた。

3. フィフスベトル(安藤勝)  
単月賞前が詰まる不利があり、NHKマイルCは高速馬場の不適条件だった。ただ、今回も2400mの距離に血統上の不安があり、強くは推せない。

4. トップカミング(幸)、5. マツハヴェロシティ(柴田善)  
青葉賞2、3着馬はかなり長期に亘ってダービーでは圏外に消えており、今年の2頭も能力証明が足らず馬券圏は厳しいだろう。華の舞台上に上がったことを祝福したい。

6. ケイアイライジン(松岡)  
後方から行く脚質とハイベース実績から、展開次第で好走できる可能性はあるが、この時代に重賞3着以内経験のない馬がダービーで馬券に絡めるとも思えず評価はできない。

7. ナカヤマフェスタ(純名)  
単月賞と同枠。新馬戦前が詰まって立て直す不利があった。東スポ杯は中池み超スローで指数固定しにくい条件で、京成杯は休み明けかつ故障馬の影響を受けて脚も余った。調教時計は新馬戦時から絶賛してきたが、全体時計が速いのでG1の流れにも対応できる耐久力を見込める。ハイベースの単月賞で先行した馬はダービーでほとんど消えているが、休み明けだったことは考慮の余地を残す。

8. ブレイクランアウト(藤田)  
共同通信杯はロスなく内を走走したことによる好走だが、朝日杯で大外を回って0.1差に入ったように加速の脚は一流。叩いて上向き、藤田騎手がロスのない競馬に徹すれば3着はあるかも。

9. ジョーカブチーノ(藤岡康)  
NHKマイルCは後続と別のレースをしていいため、速い流れを前に行った耐久能力は認めても能力証明としては微妙。1200mで勝ち星を積んだ馬なので今回は厳しいだろう。

10. アントニオパローズ(角田)  
スタートがやや遅いが前に行けばしぶとい脚を使える持久タイプ。ただし、上がりの脚はないのに積極的な競馬をしないという陣営のコメントから狙いは下降。

11. セイウンワンダー(福永)  
単月賞は後方待機策が嵌り、体調も回復していたことから3着に好走できたが、ビッチ走法のため長く脚を使われる東京は不向き。当初のまま大物感はなく、東京の重賞を減法得意とする母父SSと、福永騎手はこの条件が得意なので消すのは難しいという印象。思い出のある馬でもあり、頑張ってほしい気持ちもある。

12. リーチザクラウン(武豊)  
ガラスのような精神を持ちつつも潜在能力は高い馬で、イメージとしてはダンスインザムードやファインモーションを想起させる。この馬の好走は、テン2F目を11秒台で行くこと(無理にハナを主張しない)、途中から良いから単騎逃げになること(無理に抑えない)、条件が内先行有利馬場であること(デフォルトでざりざりOK)。これが揃えば勝ちきっておかしい。東京が不向きであり、マイラーだったダンスインザムードが天皇賞秋を2年連続2、3着に入ったこともある。

13. シェーンハイルト(北村友)  
単月賞はハイベースの恩恵で好走できたが、能力証明は足りない。

14. ゴールデンチケット(川田)  
スタートが良いがリーチザクラウンより外になったのでテンは急がないかもしれない。粘りこむタイプで東京2400mは合わないと思うが、単月賞でハイラップを逃げてリーチザクラウンに先着した実績は評価でき、極端な内先行有利馬場なら流しておくのも一興。

15. アーリーロブスト(三浦)  
単月賞はハイラップを前に行った分、弥生賞は後方から行った分の負けと、指数の割に人気は急落するだろう。長い末脚を使えないので東京のG1は無理だろうが、極端な前残りの場合のみ検討しても良い。

16. トライアンフマーチ(武幸)  
上がり最速で単月賞2着に入ったが、ハイベースを最後方から決め打って高い評価はできない。今回は人気になり鞍上の心理や展開からもプレッシャーも受けるし、条件がまともになれば必然と好走可能性は低くなるため軽視妥当と考える。

17. アイアンルック(小牧太)  
前走のNHKマイルCは高速馬場かつ内先行有利条件と前残り展開、及び4角での不利もあり散々な結果に終わったが、元々は毎日杯を勝ち、キャリア2戦目でアーリントンCで抜けた脚を見せていた馬であり、外を回すロスが軽減される条件であれば巻き返しを期待できる。人気落ちたこと、持続系の脚が魅力。

18. アンライバルド(岩田)  
陣営は外枠歓迎と言っているが、最近の東京の条件で距離ロスが発生すると考えればプラスには考え難い。単月賞は4角から直線入り口でずば抜けた脚を使う非常に強い馬だが、特殊者のパフォーマンスを信じて良いものだろうか。単月賞で無印にした者としてはこの馬が届かないケースで儲かるような買いで臨むのが後悔しない方策だと思う。もちろん、おさへは必要だろう。

## ④結論

パターン分析、データアート、指数、SHPを全て総合し、以下の通り印を打ちました。

- ◎12 リーチザクラウン(指数1位、前走休み明け。父は東京得意)
- 18 アンライバルド(前走見せた末脚の評価はしている)
- ▲1 ロジュニヴァース(出来はわからないが潜在能力高い)
- △2 アプレザンレーヴ(持続◎。上積み見込め、条件に恵まれそう)
- 注7 ナカヤマフェスタ(前走休み明け。耐久力、末脚有)
- 注8 ブレイクランアウト(前走休み明け。内逃げ)
- 注10 アントニオパローズ(積極的に行けば可能性有)
- 注11 セイウンワンダー(後方からなられないが、騎手が不気味)
- 注17 アイアンルック(持続◎。外枠が痛い条件が向けば狙い目)

展開はミドルペース。2角までリーチザクラウンがハナを奪い、ゴールデンチケット、ジョーカブチーノ、ロジュニヴァース、アーリーロブスト、マツハヴェロシティが先団を形成。勝負所以降は条件次第。

バイアスをしっかりと見極めて、パターン1~3の馬券にパターン4の馬券を組み合わせたイメージだが実際の購入馬券は、変更余地のあるものであることをご了承ください。

# たまバスの日本ダービー予想2009

# ナカヤマで叶わなかった祭り、いざ東京で

## 浜馬場の日本ダービー

いよいよ、今期の総決算日本ダービーですね。日曜日は今の所曇りですが、東京は木曜日からほぼずっと雨で、金曜の馬場発表は不良。先週のオークスは雨の中で行われると思ったら、止んで良馬場と、想定してのと違ったりで、本当に雨はめんどくさいですね。

この雨、土曜日まで降るみたいで、日曜も曇りですから、良馬場という事は無さそうです。加えて、東京競馬場は今週からCコース(先週までBコース)へと替わります。内の伸びた部分が仮覆で無くなり、伸びにくかった所が最内になるわけですが、そもそも東京コースは内から乾いていくので、雨が止んだら内から走りやすくなるのは当たり前。差し馬も伸びてないわけではないので、コース替わりだからと言って、外差しにいきなりなるとは思いません。Cコースはコーナーの角度が緩くなる分、差し馬が有利になると言われていますので、その点をどう考えるか。一応、フラット想定で、好位～中回くらいがいいかなと考えています。

## 今年のメンバーをいらないのから消してみる

今年は単勝で勝負したいと思います。まずは路線別で見て、いらないのに線いれました。

### 【車月賞組】

**アンライバルド・トライアンプマーチ・セイウンワンダー・シェーンヴァルト**  
**ナカヤマフェスタ・リーチザクラウン・ロジュニヴァース・アーリーロブスト**  
セイウンワンダー、シェーンヴァルトは距離伸びていいとは思えないので消し。トライアンプマーチは外枠差し馬2回続けてはまっても勝ちまでは無い。アーリーロブストはバブルガムフェローの血が前走で出ちゃったかなという感じで、G1では厳しそう。

### 【NHKマイルC組】

**ジョーカブチーノ・フィフスペトル・アイアンルック・ブレイクランアウト**  
ジョーカブチーノは距離自体はマンハッタンカフェ産駒で、こなせてもおかしくないけど、1800m以上の経験がないと条件戦ならまだしもG1だとキツインじゃないかなと思ひ消し。フィフスペトルは人気も無いし、内枠で上手に乗れば可能性もあるのかなとは思うけど、キンカマ産駒の延長は成績良くないので、絞る為にもここは消し。

### 【青葉賞組】

**アプレザンレーヴ・マッハヴェロシティ・トップカミング**  
マッハヴェロシティ、トップカミングは勝てるほどの力を持っていない。

### 【プリンシパルS組】

**ケイアイライジン・アントニオパローズ**  
ケイアイライジンは2000mまでがベスト、ここは長い。アントニオパローズは面白さはあるが、前走で走っちゃった感があり、ここで勝つまでは無さそう。

### 【兵庫ChS組】

**ゴールデンチケット**  
こんな所使ってる時点で買えない。

## たまバスの予想

残りを見ていきたいと思ひます。

**アンライバルド**、抜けて1番人気ですね。大外枠引いてきました。距離も長いのでそこまで気にしなくてもいいとは思いますが、差し競馬になりそうです。当日の馬場がどうなのかキニナル所です。勝って二冠・・・おかしくないですが、瞬間的な脚をここまで使ってきた馬なので、東京替わりがプラスかどうかはまだわかりません。その点に付け入る隙があり、単勝支持率も高いので、他の単勝の妙味があるという見方をしたいですが、個人的に、ネオユニヴァース産駒が瞬間的な脚を使うタイプだとは思えず、イメージとしては東京の方が合うとは思っているので、そういう意味で、東京でこそ更にパフォーマンスが上がる可能性もあるというのは覚えておきたい所。

**ナカヤマフェスタ**、車月賞では先行した中で最先着し、一度叩いての上積みが期待できますね。人気がないので十分買える一頭になりますし、好位から競馬ができるのは魅力。ステイゴールド産駒は決して大丈夫なので、期待したい所です。

**リーチザクラウン**、車月賞は13着でした。今回逃げ宣言が出るようですが、逃げるんですかね？馬場傾向によっては面白くなるのかな・・・？ジョーカブチーノ辺りも速いのでどうなるかわかりませんが、少しでも競りそうなら厳しいかなという気はします。人気がないので買ってもいいとは思いますが、勝ちきるとなると少々厳しいかもしれませぬ。弱くは無いからノーマークで行けるという事が無いでしょうし。オッズ次第でしょうか。

**ロジュニヴァース**、車月賞は14着でした。車月賞と同じ最内枠を引き、リベンジといきたい所ですね。ただ、結局ここまで速い上がりを出しておらず、東京競馬場浜馬場で行われそうなのはいいですが、それでもそここの上がりは必要で、同馬の場合ロスなく回ってこれるでしょうから、内を通る事になると思います。となると、多少乾いてくる可能性もあるわけで、尚更上がりの脚は合った方がいいんじゃないかなと思います。なので、馬券圏内には入っても勝ち切るまでは厳しいかなという印象です。

**アイアンルック**、NHKマイルCでは外を回して伸びきれずの8着でした。まあ展開的に仕方ない面はあったので、巻き返しに期待したい所ですね。人気はあんまり無さそうなので買って面白くも思いません。アドマイヤボスが相変わらず信用ならないんですが、現在(土曜2時現在)で単勝44倍ついてるんで、これなら押さえてもいいかなと思ひます。20倍くらいまでなら買うかなという感じです。

**ブレイクランアウト**は休み明けNHKマイルCを使って、叩き2走目で挑みます。体調は良さそうですが、前走前残りの競馬を後ろにいたアイアンルックに負けたというのはキニナル所。休み明けと言えどもそれまでなんですが、2400mという感じもしないので厳しいかなという気がしますが・・・。そこそこ締まった流れになりそうですから、そういう流れが向くとも思いませんし。藤田騎手も合わなさそう。ロス無く乗ってきそうなので、それでどこまでかという所。馬券圏内ならありそうなんですけどね。

**アプレザンレーヴ**、青葉賞勝つての臨戦です。個人的に、これからは若駒に限ってはG1勝ってない種牡馬とか関係なく、どんどん新種牡馬でもG1勝っていくんじゃないかなと思ひていて、シンボリクリスエスもそのうち若駒G1で勝つんだろうなとは思ひます。それが今回かどうかっていう所ですが、毎日杯でアイアンルックに負けてるんですよ。青葉賞は力の違いを見せましたが、相手が弱すぎでしたし、これだけじゃ証明にはならないかなと思ひます。内枠引けて、ロスなく進められるし、馬格もあるので当たり負けしないうし。単勝14倍ついたら買っていいと思うんですけど、消極的に買う感じがですね。どちらかという消したい所です。

## 結論

結論はこうなりました。

**単複 ナカヤマフェスタ**

最初、ナカヤマフェスタ、アイアンルック、アプレザンレーヴの単勝3点買いたいと思ったんですが、アプレザンレーヴはそんなに買いたくない。それにアイアンルックが来るなら、アンライバルドが勝つかないという気もしたので、アンライバルド押さえのナカヤマフェスタで勝負しようかと思ったんですが、それなら単純にナカヤマフェスタの単複でいいんじゃないのか、という事で単複にしました。内枠から好位で進める事ができ、ロスなく進められるのと、浜馬場でも対応できるであろうという推測の下、こうなりました。

## 後記

というわけで、若駒分析ナビゲーション、第一期は日本ダービーを持って一旦終了になります。しっかり当てて終わりたい所ですね。

皆さんは、この1年いかがでしたでしょうか？振り返ってみて、馬券力はあがりましたか？何か始めた時は違う自分が見つかったでしょうか？

そうなっていると嬉しいのですが、なっていなければ申し訳ないです。来期からは、色んなツールを使って、皆さんの回収率が少しでも上がるように、単純に情報だけじゃない、回収率をあげるコツなんかも配信していければなと思ひています。

この後の流れは来週中にお知らせします。また、1年を締めくくる、各種賞も投票&発表しますので、その事についても来週以降にお知らせしたいと思います。それでは皆さん、日本ダービーの的中報告待ってます！！！！

# ぶぎーの日本ダービー予想2009

# 巻き返す条件は揃った！ロジュニヴァース◎

## ①主要ステップレース分析

＜見方＞  
 レース名  
 3分割ラップ 09年度  
 (近5年良馬場平均)  
 前後半ラップ 09年度  
 (近5年良馬場平均)

京成杯  
 3分割 36.2-51.0-35.5  
 (36.5-50.2-35.7)  
 前後半 62.0-60.7  
 (61.7-60.7)

中盤が0.8秒遅い中弛みペースで前半が0.3秒遅いことから先行馬がやや有利なレースだったが、瞬発力の高い差し馬なら差すことも可能だったレース。内枠から好スタートを決めてスムーズに先行したアーリーロブストは物理条件を生かす完璧な競馬だっただけに、好位からタイム差なしまで詰め寄ったナカヤマフェスタはアーリーロブスト以上の能力を証明したと言えるが、出走メンバーのその後の戦績からレースレベル自体がそこまで高くなかったと判断できるため、このレースだけで高い評価はできない。

きさらぎ賞  
 3分割 36.4-37.5-35.0  
 (36.0-37.1-35.2)  
 前後半 61.7-47.2  
 (60.9-47.4)

テン、中盤、前半が遅く、上がり後半が速い明らかなSペースで先行馬が有利だったレース。逃げたリーチザクラウンが展開に恵まれたのは間違いなく、いくら展開に恵まれても0.6秒差圧勝は能力不十分ではありえない結果で、高い評価を与えざるをえない。

弥生賞  
 3分割 35.9-51.8-35.8  
 (36.5-50.2-35.2)  
 前後半 62.0-61.5  
 (61.3-60.2)

例年のラップと比較すれば前傾ラップではあるが、弥生賞が例年Sペースになりやすいレースであることを考えれば、今年もMペースだったと判断。中盤が異常に緩んで中弛みにはなっているが、Mペースなら過度に前が恵まれたわけではなく、ロジュニヴァースは能力を証明。アーリーロブストは先行馬にもかかわらず1角で外を回して位置取りを下げて差す競馬だったし、セイウンワンダーは休み明けで道中外々を回し、4角でも外を回して勝ちに動く負荷のかかる競馬で度外視している。

スプリングS  
 3分割 36.6-39.0-35.2  
 (36.2-36.3-36.0)  
 前後半 62.6-48.2  
 (60.1-48.4)

中盤が過去例を見ないほど緩み、前半で2.5秒も遅い中弛みSペース。かなり特殊なラップで評価は難しいが、先行馬に有利なレースで、差して上位だった馬は瞬発力の証明を果たせたと判断。外々を回して差してきたアンライバルドは悪くない内容で、追いついてアンライバルドに0.2秒差だったフィフスベトルもそれなりに評価が可能。2頭ともこのレース単体で高い評価はできないが、Sペースに対応できる瞬発力は証明した。

毎日杯  
 3分割 35.8-37.7-34.5  
 (35.0-35.7-35.3)  
 前後半 61.0-47.0  
 (59.0-47.0)

阪神改修後のサンプルが少なく過去との比較はできないが、テン、中盤、上がりとの比較から中弛みSペース。差して勝ったアイアンルックはそれなりに能力証明と瞬発力の証明を果たせし、アプレザンレーヴも出遅れたロスを考慮すればアイアンルックと同等の評価が可能。ゴールデンチケツトは多少展開に恵まれた面があるため、このレース単体で高い評価はできない。

皐月賞  
 3分割 34.8-48.3-35.6  
 (35.5-49.2-35.1)  
 前後半 59.1-59.6  
 (60.0-59.8)

テン、中盤が遅く、上がり後半が速いHペースで差し馬が有利だったレース。最後方から追いついたトライアンフマーチは最高の展開だっただけに高い評価はできないが、上位陣で最も前から競馬しながら2着以下を0.2秒ちぎったアンライバルドは高い能力を証明。道中の位置取りを考えれば、セイウンワンダーにも一定の評価を与えられるし、道中かかるロスがありながらセイウンワンダーに0.4秒差だったシェーンヴァルトも悪くない内容。先行勢では逃げという展開上最も不利な脚質ながら11着に粘ったゴールデンチケツトと、休み明けで好位から競馬して先行勢で最速着したナカヤマフェスタは多少の評価が可能。後方から競馬したが休み明けで早めに動いたアントニオパローズ、逃げ圧勝後の格上げG I でパフォーマンスを下げて可能性のあるリーチザクラウン、ロジュニヴァースは度外視できる内容だったが、差し凡走後の先行で逃げたゴールデンチケツトに0.8秒差つけられたアーリーロブスト、直線でごちゃついた不利は認めつつも追いついた競馬で7着凡走だったフィフスベトルは評価できない。

青葉賞  
 3分割 48.3-50.6-47.3  
 (48.1-50.5-47.1)  
 4分割 35.5-38.1-37.6-35.0  
 (35.5-37.7-37.6-34.9)

ほぼ例年通りのラップで、やや先行馬が有利なMペース。大外枠から外々を回して差してきたアプレザンレーヴは出走メンバー中最上位の能力を証明したが、同じく外々を回したトップカミングから0.3秒差なら過剰に高い能力証明になったとはいえない。そのトップカミングはロスを考慮すればそれなりの評価が可能だが、最内枠から内々を回してアプレザンレーヴに敗れたマツバヴェロシティとともども格上げG I のダービーでは厳しい。

プリンシパルス  
 3分割 36.1-48.4-35.4  
 (36.1-49.5-34.7)  
 前後半 59.9-60.0  
 (60.9-59.4)

中盤が1.1秒速く、前半が1.0秒遅いHペースで差し馬有利だったレース。好位から4角で外を回して先頭と並びかける横綱相撲でタイム差なしの2着だったアントニオパローズは出走メンバー中最上位の能力を証明したが、ケイアイライジンもアントニオパローズから1～2馬身差の位置にいたため、そこまで高い能力証明にはならなかった。

NHKマイルC  
 3分割 34.3-22.9-35.2  
 (34.5-23.7-34.9)  
 前後半 45.5-46.9  
 (46.2-46.9)

中盤が0.8秒速く、前半が0.7秒遅いHペースだったが、ゲットフルマーケスが大幅に遅く、3番手から競馬したグランプリエンゼルが上がり34.1秒で3着し、4番手から競馬したレッドスパーダが上がり33.7秒で2着しているように、実質的には3番手以降は先行馬有利なSペース。2着に0.3秒差、3着に0.6秒差をつけて圧勝したジョーカブチーノは高い能力を証明したが、展開に恵まれたことは否定できない。後方から競馬し直線入り口で前が塞がれる不利があつてそこから群を抜く末脚を披露したアイアンルックは度外視できる内容だったが、いつもより前からの競馬だったとはいえ好位から競馬しながら5着だったフィフスベトル、後方から競馬した不利は認めつつも直線に入ってしまった伸びなかったトライアンフマーチは評価できない。

## ②各馬診断

### Aロジュニヴァース

皐月賞はHペースを好位から競馬する不利があつたし、逃げ圧勝後の格上げG I で精神的に負荷を感じるローテーションだったので仕方ない敗戦。距離延長で最内枠を引いてスムーズに好位からの競馬ができそうなのは有利だし、弥生賞で能力は証明している。最内枠のテンの脚がある馬で乗り慣れた横山典騎手騎乗ならロスが生じるはずもなく、巻き返す条件は揃った。

### Dアプレザンレーヴ

青葉賞はメンバー中最上位の能力を証明する内容で、毎日杯もアイアンルックと並んでメンバー中最上位の能力を証明する内容。相手関係から高い評価はしにくい、内田騎手騎乗で最内枠を引いてロスを最小限におさえた競馬ができると考えれば、それなりに評価を与えざるをえない。

### …フィフスベトル

安藤騎手騎乗で内枠を引いてロスのない競馬ができそうなのは有利だが、近3走が能力証明に欠ける内容。超人気薄の魅力はあるが、評価はできない。

### Eトップカミング

青葉賞はそれなりに評価できる内容で内枠からスムーズに競馬できそうなのは有利だが、このメンバーでは能力証明足りない。ただ、能力以上に超人気薄になりそうだけに、期待値も考慮すれば多少は評価できる。

### …マツバヴェロシティ

内枠を引いてスムーズに先行できそうなのは有利だが、能力証明足り

### Eケイアイライジン

プリンシパルスはHペースに恵まれた勝利ではあったが、アントニオパローズから1～2馬身差の位置で競馬していたことを考えれば、一定の評価は可能な内容。アントニオパローズより内枠に入ったし、松岡騎手騎乗でロスのない競馬ができそうなのは有利で、超人気薄なら多少は評価できる。

### Eナカヤマフェスタ

皐月賞は休み明けで好位から競馬して先行勢で最速着して多少の評価は可能な内容で、内気味の中枠を引いて能名騎手騎乗でロスのない競馬ができそうなのは有利。証明している能力と比較して人気を集めそうなのに高い評価はしにくい、馬券はおさざるをえない。

### …ブレイクランアウト

NHKマイルCは後方から競馬した不利を考慮しても評価できない内容で、体調不良の可能性を示唆した。中枠の差し馬で藤田騎手騎乗ならロスを最小限におさえた競馬が期待できるが、体調不良の可能性が高いにもかかわらず、実績から中位人気に支持されそうなのは評価できない。

### …ジョーカブチーノ

NHKマイルCは高い能力を証明する内容だったが、1600mの中盤が緩まない流れを先行しての能力証明では距離延長への対応力に疑問が残る。もともと短距離で実績を残してきた馬でもあり、差したフルコンSも1200mで相対的に上がり伸びだけという内容だったので、距離延長でパフォーマンスを維持させる理由はない。近年はNHKマイルCからのローテーションで活躍する馬が多いだけに中位人気に支持されそうだが、能力だけを評価された人気に付き合う必要はない。

### …アントニオパローズ

皐月賞は度外視できる内容で、プリンシパルスはメンバー中最上位の能力を証明する内容ではあったが、中位人気に支持されるほど能力証明を果たせているのは微妙。強気な騎乗が売りの角田騎手騎乗は長くいい脚を使うタイプだけに悪くないが、中枠から強気な騎乗を試みればロスがあるのは当然で、ロスがあつても上位に食い込むほどの能力は証明していない。

### Dセイウンワンダー

弥生賞は度外視できる内容だったが、皐月賞は一定の評価が可能な内容。中枠を引いて福永騎手騎乗なら無難な競馬が期待できるため、能力なりにある程度の評価は与えざるをえない。

### Bリーチザクラウン

皐月賞はHペースを先行して4角で外を回して勝ちに動く負荷のかかる競馬だったし、逃げ案勝後の格上げG I でパフォーマンスを下けた可能性があつて度外視できる内容。きさらぎ賞で世代トップクラスの能力を証明して勝つ可能性は秘めているが、気性に難のある先行馬で距離延長には不安が残る。能力を発揮できれば上位争いは間違いないが、能力を発揮できるかどうかの判断は難しい。

### …シェーンヴァルト

皐月賞は一定の評価が可能な内容で、皐月賞で近いパフォーマンスだったセイウンワンダーと比較してかなり人気薄であることを考えれば評価できるが、外枠を引いて経験の浅い北村友騎手ではロスが多い騎乗を余儀なくされるし、皐月賞での評価は道中かかったロスによるところが大きい。距離延長で折り合って同等のパフォーマンスを発揮する可能性は低く、評価できない。

### Dゴールデンチケツト

外枠は痛い、皐月賞は一定の評価が可能な内容だし、毎日杯で中弛みペースを先行して上がり34.3秒でアイアンルックに0.1秒差なら距離延長にも対応できる。ダー芝替わり距離延長先行でパフォーマンスを向上させる可能性があるのは有利だし、超人気薄で期待値も高い。

### …アーリーロブスト

弥生賞は度外視できる内容だったが、皐月賞はHペースだったことを考慮しても評価できない内容。能力証明がない上に外枠からロスが多い競馬を余儀なくされる以上、超人気薄でも評価できない。

### …トライアンフマーチ

皐月賞はHペースで最後方からの追いつきハマっただけという内容で過剰な評価はできないし、皐月賞2着の実績で人気するなら期待値も低くなる。外枠の追いつき馬でロスは免れないし、能力証明に欠ける馬が物理条件にも恵まれなければ評価できない。

### Eアイアンルック

NHKマイルCは直線入り口の不利が大きかったし、後方から競馬する不利も響いて度外視できる内容。毎日杯でアプレザンレーヴ級の能力は証明している期待値は高いが、痛恨の大外枠、小牧騎手騎乗の大外枠の差し馬ではロスは免れないし、多少の評価は可能でも高い評価はできない。

### Aアンライバルド

皐月賞は上位馬で最も前から競馬をしていて着差以上に強い内容。岩田騎手騎乗でも大外枠のロスは免れないが、ある程度速い流れになりそうなるメンバー構成なら過度なロスを生じる可能性は低く、能力はトップクラスだけに評価せざるをえない。

## ③予想

# ◎ロジュニヴァース、○アンライバルド